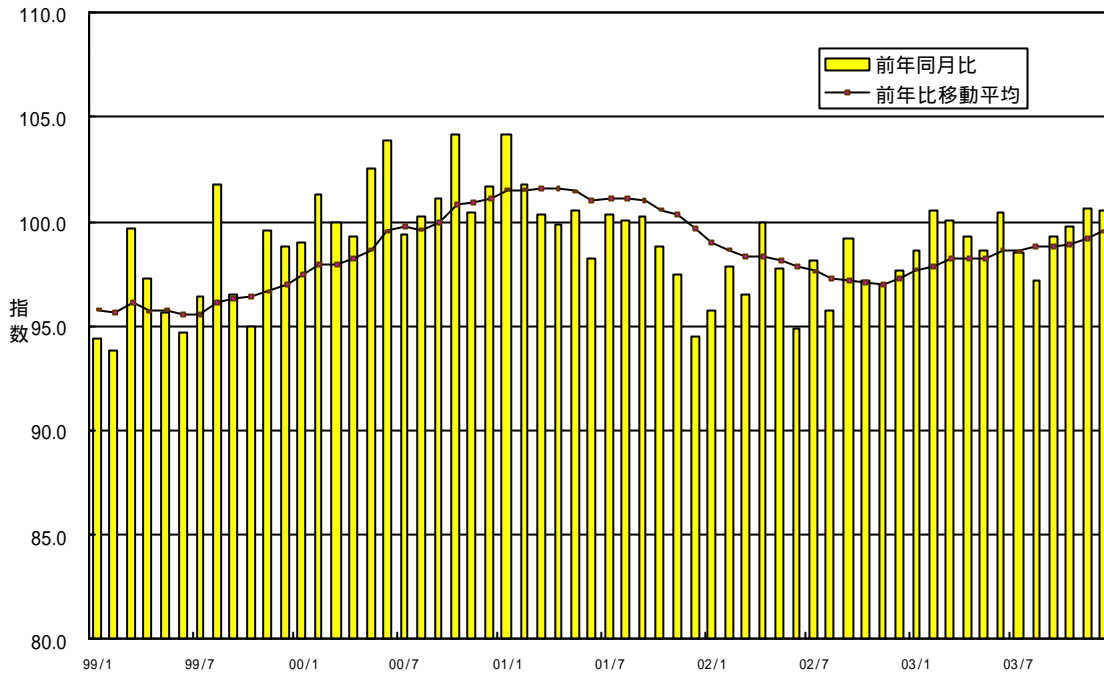


## 資料1 印刷産業の景況

2003年はバブル崩壊後3度目の景気回復期にあたるが、印刷業界の景気はGDPほどの伸びが見られない。



出典：(社)日本印刷技術協会「JAGAT info」

## 資料4-2-2.a 印刷産業の主要需要先業種別印刷需要金額

情報産業(印刷・出版)からの印刷需要は、90年 95年 97年と低下した。出版・新聞の減少によるものである。95年 97年で大きく伸びたのは広告、金融、公務、商業である。

金額単位：億円

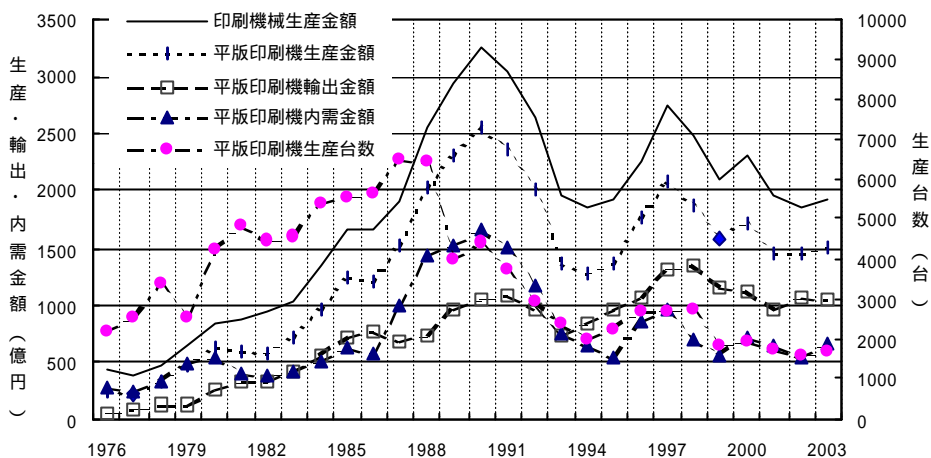
業種		70年	75年	80年	85年	90年	95年	97年
印刷/出版	出版	2,070	5,371	7,936	10,257	18,006	17,717	17,497
	印刷・製版・製本	1,474	3,505	4,627	4,097	7,223	6,976	6,942
	新聞	300	1,165	2,343	4,601	7,833	7,752	8,229
	新聞	296	700	965	1,559	2,950	2,990	2,326
対事業所サービス	対事業所サービス	951	1,849	3,901	8,059	5,862	6,197	7,354
	広告	673	572	730	1,946	3,001	3,079	4,327
	賃貸業 調査/情報サービス	23	81	173	328	532	594	824
	その他の対事業所サービス	137	739	2,054	5,785	2,328	2,523	2,202
金融・保険	金融・保険	490	1,347	2,932	4,229	6,996	6,255	6,910
	金融		889	1,967	2,711	4,379	3,947	4,660
	保険		458	965	1,518	2,617	2,308	2,249
教育・研究	教育・研究	106	1,196	2,857	4,965	5,278	5,444	5,260
	教育	87	349	920	1,234	1,173	1,366	1,324
	研究	19	847	1,937	3,732	4,105	4,078	3,936
ハルブ・紙・紙加工品	ハルブ・紙・紙加工品	1,401	3,145	5,033	4,534	1,000	964	1,165
	ハルブ・紙		873	1,791	1,299	13	12	16
	紙加工品		2,272	3,239	3,245	986	952	1,149
公務	公務	0	841	1,704	2,195	2,518	2,883	4,545
対個人サービス	対個人サービス	203	445	800	1,483	2,548	2,946	2,541
その他の公共サービス	その他の公共サービス	249	659	1,963	1,634	2,078	2,467	2,117
商業	商業	300	542	1,021	1,402	7,365	7,644	8,219
食料品	食料品		370	596	640	3425	3601	3778
その他	その他	3902	3,618	5,847	9,693	17,240	16,945	17,843
合計	合計	9,672	19,383	34,590	49,091	72,316	73,064	77,228

出典：「産業連関表」よりJAGAT作成

資料2-3-4(2)b 印刷機械の生産金額と平版印刷の生産・輸出・内需金額及び生産台数

97年の印刷機械の生産台数はやっと91年レベルまで回復，生産金額もピーク時(90年)の85%レベルまで戻った。98年以降は業界の景況に沿って上下し、2002年は1975年以降最低レベル(最低は、1994年の3823台)になった。2003年は3年ぶりに前年を上回った。

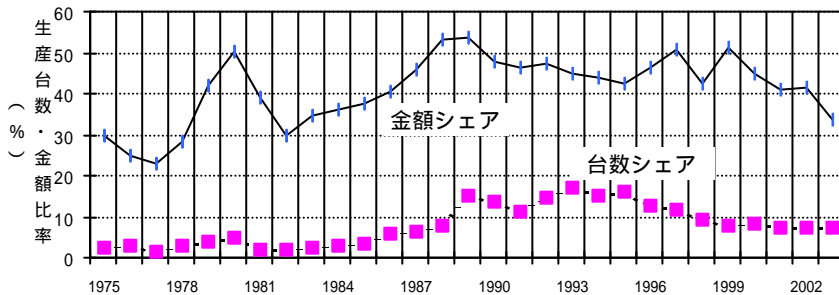
平版印刷機の内需金額は、景気の波とともに上下しつつ推移。2003年は前年比19.2%増になった。



出典：「きかいJPMAレポート」よりJAGAT作成

資料2-3-4(4) 平版印刷機に占める長巻式印刷機の生産台数シェアと金額シェア

台数シェアは一定水準に落ち着きつつあるようだが、金額シェアは低下している。

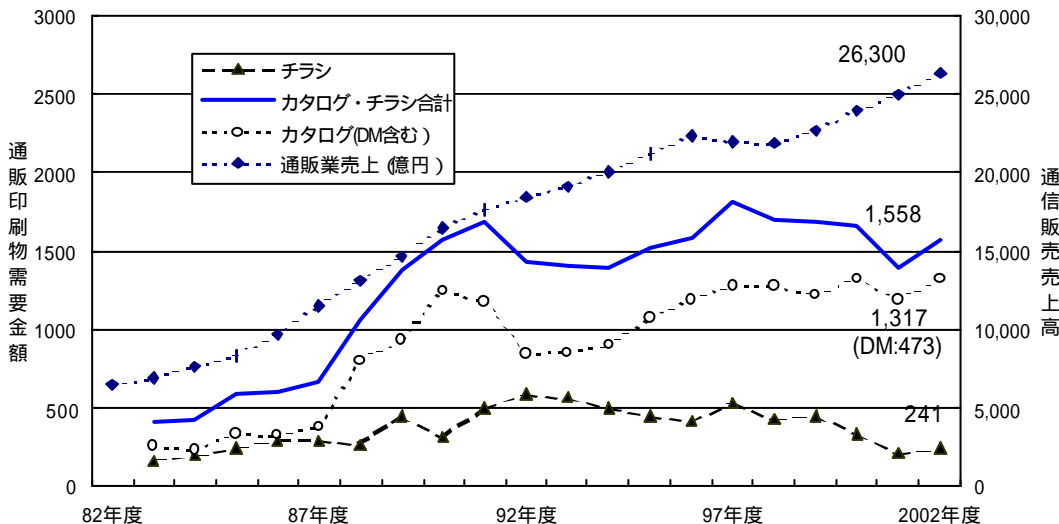


出典：「きかいJPMAレポート」よりJAGAT作成

資料4-4-4(4) 通信販売市場規模と印刷物需要推移

通販業の売上高は一時2年連続のマイナスになったが、1999年度以降年平均4.8%連続の売上増になっている。B to Bとネット販売拡大によるところが大きい。

この10年程を見ると、宣伝媒体としての印刷需要は横バイと言えるだろう。インターネット普及年である1997年を基点に考えると減少傾向にあるようだ。



出典：(社)日本通信販売協会「通信販売企業実態調査報告書」よりJAGAT作成

資料5-3-3 1人1時間当たり生産性

時間当たり加工高は、1986年以降順調に伸びてきたが、1997年以降は景気に連動して上下しながら推移している。2001年以降はいずれの生産性指標も悪くなっている。

単位(円)

年	A: / 時間当り加工高	B: ×A 時間当り経常利益	C: A - B 時間当り加工費	D: ×A 時間当り人件費	E: C - D 時間当り間接費
1975	1,667	118	1,549	1,007	542
1976	1,795	131	1,664	1,115	549
1977	1,977	158	1,819	1,241	578
1978	2,145	199	1,946	1,321	625
1979	2,353	242	2,111	1,405	706
1980	2,468	234	2,234	1,461	773
1981	2,642	222	2,420	1,561	859
1982	2,776	233	2,543	1,660	883
1983	2,800	227	2,573	1,663	910
1984	2,954	251	2,703	1,740	963
1985	3,154	284	2,745	1,848	897
1986	3,029	285	2,744	1,751	993
1987	(注2)	-	-	-	-
1988	(注2)	-	-	-	-
1989	3,469	364	3,105	1,835	1,270
1990	3,862	402	3,460	2,008	1,452
1991	4,154	420	3,734	2,143	1,591
1992	4,156	345	3,811	2,223	1,588
1993	4,183	264	3,919	2,418	1,588
1994	4,183	234	3,949	2,342	1,607
1995	4,226	237	3,990	2,375	1,614
1996	4,406	295	4,111	2,454	1,657
1997	4,401	255	4,146	2,478	1,668
1998	4,379	260	4,119	2,479	1,641
1999	4,461	317	4,144	2,516	1,628
2000	4,527	321	4,206	2,458	1,748
2001	4,393	264	4,129	2,486	1,643
2002	4,307	258	4,049	2,416	1,633

(注1) 項目欄の , , , は、資料5-3-2(1)の項目番号を示す。

(注2) 印刷業経営動向実態調査のデータとして労働時間が掲載されていないので、データを得られない。

出典：全日本印刷工業組合連合会「印刷業経営動向実態調査」よりJAGAT作成

資料6 印刷の国際化

印刷輸出入はほとんどの分野で国内生産額の1%前後のレベルである。

紙製品、紙製容器の輸入比率は上昇しているが、内需自体は減少している。

資料6-2 国内出荷額と輸出入額の比較(2001年)

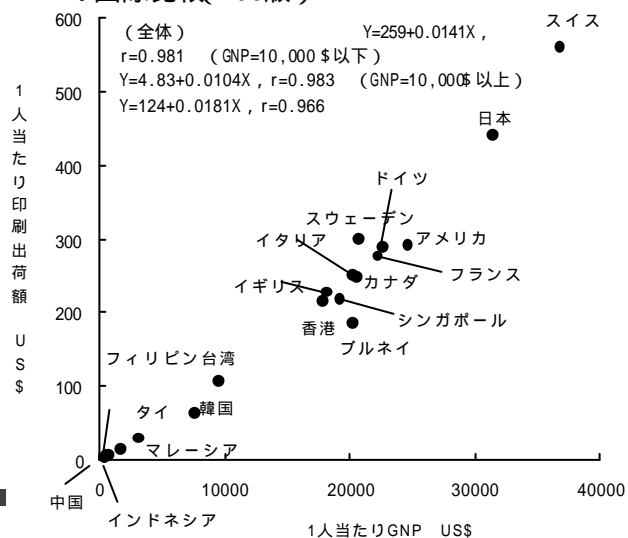
業種 [業種・品目コード]	出荷額	単位:百万円	
		輸入% (金額)	輸出% (金額)
紙製品製造業	537,370	1.3	0.3
[154] [4820]		7.226	1.507
紙製容器製造業	2,234,989	0.8	0.3
[155] [4819]		17.136	5.924
新聞・出版業 (注記)	4,708,430	1.2	0.4
[4901,4902,4903,4904]		57.863	17.885
印刷産業	7,615,927	0.4	0.3
[16] [4905,4906,4907,4908, 4909,4910,4911]		27.951	23.991
合計	15,096,716	0.7	0.3
		110.176	49.307

(注)印刷白書'98 '99'までとは集計項目を変更した。



出典：「工業統計表(産業編)」、「貿易月報」よりJAGAT作成

資料6-3 1人当たりGNPと1人当たり印刷出荷額の国際比較('93版)



出典：Deutscher Druckerのデータに基づきJAGAT作成